

# [生涯学習]課 経営計画書（総括表）

## ■事務事業の総括

No.	事務事業名	様式 区分	H29年度計画額（単位：千円）		H29年度必要人工	
			計画額	内特定財源	職員	臨時職員
1	家庭教育推進事業	B	971	290	0.4	0.2
2	生涯学習活動推進事業	B	18,376	873	0.3	0.1
3	生涯学習講座事業	B	1,369	200	0.7	0.2
4	中央公民館管理事業	B	61,917	3,618	0.4	0.1
5	町民会館管理事業	B	21,419	2,881	0.4	0.1
6	社会体育振興事業	B	10,535	499	0.6	0.1
7	温水プール管理事業	B	48,104	160	0.3	
8	グラウンド等管理事業	B	43,980	1,399	0.3	0.1
9	野外活動施設管理事業	B	5,189	15	0.3	
10	町史編纂事業	B	0	0	0.4	0.1
11	文化財保護事業	B	3,462	30	0.4	0.5
12	歴史民俗資料館運営事業	B	11,439	40	0.5	1
13	歴史文化教育事業	B	0	0	1	0.5
合 計			226,761	10,005	6.0	3.0

## ■特記事項

--

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	生涯学習課	No.	1
事業名	家庭教育推進事業		
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する
	基本施策	1	生涯学習の推進
目的	将来を担う子どもたちの健全育成は、学校・家庭・地域及び子どもに関する関係機関が連携し、すべての教育の基である家庭教育の充実を図り発展させること。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭教育講座 ※小学生以上を対象にした講座や親子を対象にした自然体験教室等を開催する。</li> <li>・親子ふれあいファミリーフェスタ ※ふれあいまつりで小、中学校PTAと協働契約により開催する。</li> </ul>		
現在における経過又は課題	<p>社会構造の変化に伴い、子育て家庭の孤立や地域の子育て力が低下している。その為、学校、家庭、地域が連携して、自然体験や親子ふれあいの場づくりに務め、家庭や地域が共に子育てに参加し、その教育力を高めることが必要である。</p> <p>町の他部局やNPO登録団体等が行う同様の事業も多く、講座や体験教室に同じ受講者が参加するなど、新たな参加者が増加していかない。</p> <p>青少年問題協議会の会議を年1回開催し、江南警察署管内の青少年の犯罪状況や、愛知県青少年保護条例による様々な取り組みやイベントなどの啓発をしている。</p>		
平成29年度の目標又は改善策	<p>親子講座や親子（父子）がふれあい、ともに学習できる機会の提供などより一層の充実を図る。</p> <p>新たな参加者の獲得のためアンケート調査等を実施しながら更なるニーズの発掘に努力する。</p> <p>事業や開催時期などが重複しないよう、他の部局と情報を共有しながら連携を密にするようにする。</p>		

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	前期家庭教育講座の受付及び事業展開、アンケート調査（5月～8月）
7	日間賀島親子自然体験教室開催及びアンケート調査 青少年問題協議会の開催
10	後期家庭教育講座の受付及び事業展開、アンケート調査（10月～2月）

## □3年間の目標

目標	・ ・					
項目（単位）	H27 計画	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標	H31 目標

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30 年度	・ ・
H31 年度	・ ・

## ■事業コスト

		単位	H27 年度決算額	H28 年度当初予算額	H29 年度計画額
事業費		千円	416	987	971
(内特定財源)		千円	16	245	290
人工	職員	人工	0.6	0.3	0.4
	臨時職員	人工	0.2	0.2	0.2
	計	人工	0.8	0.5	0.6

## ■平成 29 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
19-3-4-9-2-2 家庭教育講座受講料	20	10-5-1 3 家庭教育推進事業
19-3-4-9-4-1 家庭教育活動参加者負担金	270	10-5-1 3 家庭教育推進事業
合計	290	

## ■平成 29 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

## ■特記事項

なし

## ■目標又は改善策に対する取組内容

講座や教室に参加する親子などが固定化する傾向があるため、多くの方々に参加していただけるよう周知方法や内容について検討した。

他の部局、団体と同様な行事については、重複している内容について再確認をした。

### ●前期家庭教育講座の受付及び事業展開

#### ・親子自然教室

竹で、たけのこごはん！（1回、33人、7組参加）

親子で竹パン教室（1回、25人、7組参加）

#### ・理科おもしろ実験講座

高～く、長～く飛ぶ紙飛行機を作ろう（1回、21人参加）

科学クイズ 実験で答えを確かめよう（1回、11人参加）

作用と反作用 ペットボトルロケットを作ろう（1回、16人参加）

#### ・夏休み親子料理教室（3回、延67人32組参加）

#### ・日間賀島親子自然体験教室（1回、90人、27組参加）

#### ・理科おもしろ実験講座特別教室『紙はゴミじゃない!!コロッケ先生の古紙リサイクル教室』（1回、33人参加）

### ●後期家庭教育講座の受付及び事業展開

#### ・理科おもしろ実験講座

第2回 高～く、長～く飛ぶ紙飛行機を作ろう（1回、19人参加）

砂糖を使ったお菓子を作ってみよう（1回、9人参加）

#### ・原始人クラブ大口出張所（2回、延21人8組参加）

### ●ふれあいまつり2017

大口中学校 PTA 千本引き（515人参加）

大口南小学校 PTA 缶積みゲーム（353人参加）

大口北小学校 PTA 親子いすづくり（100組参加）

大口西小学校 PTA Let's チャレンジ! わなげ（920人参加）

### ●父子料理教室（おやじの会 協働事業）（14組、34人参加）

### ●青少年問題協議会で巡回パトロール実施（ヨシツヤ・バロー）

中学校・保護司と連携して、校外巡視時に啓発チラシ・グッズを配布

## ■評価

家庭教育に関連した各種講座・教室を開催することにより、多くの参加者が家族の絆などその意義を体験することができ、参加者からは概ねよい評価をいただいている。親子自然教室では、地震災害時などに役立つよう屋外で薪をつかっている炊事経験や火おこしを体験した。

親子自然教室では、父親の積極的参加がみられ、母親を含めた家族でのより良い家庭教育の場となった。今後は、他市町の講座状況や住民の多様なニーズを掌握し、事業展開を図っていきたい。

また、町NPO登録団体や小中学校PTAと協働開催し、事業展開していくことや学校との連携・調整もスムーズに行えた。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	生涯学習課	No.	2
事業名	生涯学習活動推進事業		
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する
	基本施策	1	生涯学習の推進
目的	人々が自らの意思で、生涯学習活動を進めることにより、大口町生涯学習基本構想に基づく「生涯学習のまちづくり」を目指すこと。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化振興（芸能文化事業）</li> <li>・学校支援地域本部事業</li> <li>・文化協会支援</li> <li>・成人の集い実行委員会支援</li> <li>・リフレッシュリゾート施設利用助成</li> <li>・生涯学習のまちづくり事業委託</li> </ul>		
現在における経過又は課題	<p>学校、家庭、地域がそれぞれの役割を持ちながら互いの教育力を補完し合い、学習活動を推進する必要がある。</p> <p>大口町文化協会は、会員の高齢化が進んでいるが、協会の自立が期待されているとともに会員をどのように増やしていくかが大きな課題である。</p> <p>学校支援地域本部事業のより一層の拡大と継続性の確保。</p>		
平成 29 年度の目標又は改善策	<p>開かれた学校づくりの一環で地域住民が学校における行事や事業への参加・協力ができるよう学校地域支援本部の継続と拡充のため情報発信やボランティアの確保などを図っていく。</p> <p>今年度より文化協会の事務運営全般をまちネットへ委託することに合わせ、文化協会の自主運営を支援していく。</p>		

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	大口町文化協会補助金交付決定 事業の展開支援（4月～3月）
6	生涯学習のまちづくり事業委託契約 町NPO団体と協働委託契約を締結 芸能文化事業の展開（6月～2月） ・ほほえみコンサート、なんでもマラソンコンサート、おおぐち合唱祭、ダンス&ミュージック
7	大人の集い実行委員会立ち上げ 事業の展開（8月～1月）
1	大人の集い開催 リフレッシュリゾート施設利用申請受付、利用券交付（4月～3月）

## □3年間の目標

目標	・ ・					
項目（単位）	H27 計画	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標	H31 目標

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30 年度	・ ・
H31 年度	・ ・

## ■事業コスト

		単位	H27 年度決算額	H28 年度当初予算額	H29 年度計画額
事業費		千円	17,206	19,506	18,376
(内特定財源)		千円	105	308	873
人工	職員	人工	0.6	0.3	0.3
	臨時職員	人工	0.2	0.2	0.1
	計	人工	0.8	0.5	0.4

## ■平成 29 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
12-1-9-4-4-1 特別教室開放施設使用料	108	10-5-1 4 生涯学習活動推進事業
17-1-2-1-1-1 ふるさとづくり基金繰入金	765	10-5-1 4 生涯学習活動推進事業
合計	873	

## ■平成 29 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
10-5-1 4 13-4-2 文化協会事務協働委託料	565	565	・組織の継続的な運営を目指し、大口町文化協会の事務局を特定非営利活動法人まちねっと大口に委託
10-5-1 4 19-2-1 文化協会補助金	1,750	△150	・事務事業全般の委託に伴い減額

## ■特記事項

なし

## ■目標又は改善策に対する取組内容

中央公民館廊下やロビーなどを有効活用し、文化協会や学校支援地域本部事業、地域自治組織などのPRができるようパネルの展示や事業報告などを掲載し、各種団体へ加入へのアピールを行った。

### ●芸能文化事業

ほほえみコンサート（3回、延入場者140人）

大口なんでもマラソンコンサート（1回、37組、50人参加）

おおぐち合唱祭（1回、7団体、171人参加、入場者214人）

ダンス&ミュージックフェスティバル（1回、20団体参加、入場者約400人）

### ●成人の集い実行委員会支援

成人の集い参加者 207人参加

### ●文化協会支援

文化部、芸能部合わせて23団体、493人

作品展及び教室 26事業

発表会及び慰問 116事業

### ●学校支援地域本部事業

ボランティア登録人数 81人

活動日数・活動人数

・大口中学校 延214日 677人

・大口南小学校 延65日 448人

・大口北小学校 延77日 186人

・大口西小学校 延68日 329人

## ■評価

従来の外部招へいの芸能鑑賞会から町内の団体と協働委託事業としたことが定着化し、実施団体のより一層の活性化だけでなく、町内で文化活動をしている団体の掘り起しと同時に、団体と団体との交流の場となった。また、数多くの子どもたちの活躍が目立ち、本町の芸能文化の向上につながった。

文化協会においては、助成の仕組みについての整理を行い、各クラブの理解と協力が得られ順調に進めてきたが、会員の高齢化などクラブの存続が危ぶまれる団体もあり、新たなクラブの募集や会員募集など積極的に進める必要がある。

リフレッシュリゾート事業では、平成27年度より航空運賃補助など新たに3地区を助成対象とするなど拡大をしたが、PRの方法を考察し、より多くの方に利用してもらえるよう検討する必要がある。

学校支援地域本部事業では、参加されるボランティアの方からは、自信とやりがいを強く感じられたという意見が多く寄せられ、生涯学習実現の場として大きな役割を果たしていると感じられた。今後も学校支援活動がますます町全体での活動に広がっていくよう継続していきたい。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	生涯教育部 生涯学習課	No.	3
事業名	生涯学習講座事業		
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する
	基本施策	1	生涯学習の推進
目的	町民一人ひとりが、変化の多い社会の中で「明るく、楽しく、豊かに」生きることを願い、様々な分野の各種講座を開設し、個々の教養や技術を習得すること。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期講座</li> </ul> ※前期、後期に分け、主に教養を深めることや趣味の拡大を目的に1講座6回程度開催する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旬の講座</li> </ul> ※その季節にあわせて1講座1回から3回程度開催する。	
現在における経過又は課題	住民が求める講座や教室は、多種多様であり、講座や教室の内容の企画や選定に苦慮している。多くの参加を見込める講座等を企画する必要があるが、他の部局と同様の事業や時期が重複している傾向がみられる。		
平成29年度の目標又は改善策	講座の開催場所を学校や学供、町外施設など幅広く活動の場を展開する。 アンケート調査で得た情報を基に、更に住民ニーズを吟味し、新たな講座等を企画していく。 新たな講座等も開設しつつ、既存の（文化協会活動）活動も積極的にリトライしていく。 歴史民俗資料館とともに、文化講座、文化協会活動を支援していく。		

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	前期生涯学習講座の受付及び事業展開（5月～8月）
10	後期生涯学習講座の受付及び事業展開（11月～2月）
	* 事業の展開と共に、新たな講座等を企画していく。

## □3年間の目標

目標	.					
	.					
項目（単位）	H27 計画	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標	H31 目標

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30 年度	.
H31 年度	.

## ■事業コスト

		単位	H27 年度決算額	H28 年度当初予算額	H29 年度計画額
事業費		千円	814	1,755	1,369
(内特定財源)		千円	87	360	200
人工	職員	人工	0.6	0.6	0.7
	臨時職員	人工	0.2	0.2	0.2
	計	人工	0.8	0.8	0.9

## ■平成 29 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
19-3-4-9-2-1 社会教育講座受講料	200	10-5-1 5 生涯学習講座事業
合 計	200	

## ■平成 29 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
10-5-1 5 13-16-1 生涯学習講座開催委託料	808	△386	・昨年度は松江市現地講座を実施。H29 年度は生涯学習講座を増やした。 松江市現地講座 △600

## ■特記事項

なし

## ■目標又は改善策に対する取組内容

受講者へのアンケートや生涯学習基本構想策定時のアンケート調査、聞き取り、民間事業者により各所で実施されている講座の情報収集などにより、多種多様な住民の学習要求に応えられるよう準備に努めた。

### ●前期講座

「ヤマザキマザック美術館～よそおいの200年～」(1回、30人参加)

「博物館明治村」(1回、13人参加)

「楽しいカメラ講座～素敵な写真を撮ろう～」(6回、延46人参加)

「教科書に載らない歴史ウォーク」(4回、延71人参加)

「美しいおもてなし 茶道教室」(5回、延29人参加)

「おおぐち歴史談義」(3回、延27人参加)

「夏のイタリア料理教室」(3回、延36人参加)

「初めての水墨画教室」(6回、延56人参加)

「伊勢型紙教室」(6回、延49人参加)

「かんたん味わい絵手紙教室」(3回、延32人参加)

### ●後期講座

「ヤマザキマザック美術館～木彫り動物美術館 はしもとみおの世界～」(1回、17人参加)

「初めての将棋教室」(3回、延8人参加)

「初めての大正琴教室」(6回、延24人参加)

「ゆったりカフェ気分 初めてのパン教室」(3回、延45人参加)

「ファブリックステンシルでTシャツ作り！」(4回、延33人参加)

「初めての編み物講座」(6回、延38人参加)

「学ぶ！歩く！裁断橋物語」(3回、延13人参加)

「心と体の幸せヨガ」(6回、延111人参加)

### ●高齢者教室～さくら大学～(12回、延796人参加)

## ■評価

一般成人から高齢者まで幅広い年齢層の方を対象に様々な学習機会を提供できた。また、生涯学習基本構想のキーワード「学びを創る」「学びにつどう」「学びをつなぐ」という考え方の基、「誰でも、いつでも、気軽に学べる」をモットーに今後の人材育成や生きがいづくりにつながるように、受講者アンケートなどを参考に今後の講座を検討していきたい。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	生涯教育部 生涯学習課		No.	4
事業名	中央公民館管理事業			
総合計画の 体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する	
	基本施策	1	生涯学習の推進	
目的	町民が安全で快適に学習できるよう、施設を整備し、町民が気楽に集まり教養や技術を習得することができると共に「明るく、楽しく、豊かに」生きることの一助とする。			
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設の利用者対応</li> <li>・ 設備の維持管理</li> </ul> ※外注分は協議・契約・履行確認		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支払処理</li> <li>・ 消耗品等の補充</li> <li>・ 除草等清掃作業</li> </ul>	
現在における 経過又は課題	平成 26 年度に耐震工事と改修を行い整備されたが、施設内の備品など老朽化や破損しているものが目立つ状況なので、平成 27 年度より順次備品購入対応をしている。			
平成 29 年度 の目標又は 改善策	27 年度より 3～5 年ほどの計画で会議室の机や調理室の調理器具などを更新しており、引き続きしていく。 また、修繕で対応可能な部分については、積極的に修繕し、改修が必要な場合にもできる限り対応していく。			

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	年間を通して行う保守点検等の契約締結 随時、履行確認をしていく。
7	集会室排煙設備更新工事、集会室設備改修工事の発注
	* 突発的な施設の不具合等への対応に努めながら、健全な施設運営を図っていく。

## □3年間の目標

目標	.					
	.					
項目（単位）	H27 計画	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標	H31 目標

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30 年度	.
H31 年度	.

## ■事業コスト

		単位	H27 年度決算額	H28 年度当初予算額	H29 年度計画額
事業費		千円	65,351	65,174	61,917
(内特定財源)		千円	3,560	3,610	3,618
人工	職員	人工	0.3	0.3	0.4
	臨時職員	人工	0.1	0.1	0.1
	計	人工	0.4	0.4	0.5

## ■平成 29 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
12-1-9-4-1-1 行政財産目的外使用料	98	10-5-2 3 中央公民館管理事業
12-1-9-4-2-1 中央公民館使用料	3,100	10-5-2 3 中央公民館管理事業
19-3-4-9-6-1 施設利用負担金	420	10-5-2 3 中央公民館管理事業
合計	3,618	

## ■平成 29 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
10-5-2 03 11-5 光熱水費	40,500	△8,000	使用実績に伴う減額 (電気料 △3,000 ガス △5,000)
10-5-2 03 15-10-1 工事請負費	8,576	皆増	集会室排煙設備更新工事 4カ所の排煙設備を電気式に取替
10-5-2 03 15-11-1 工事請負費	1,653	皆増	集会室吊り物修繕 緞帳撤去、電子機器取替、ワイヤー取替
10-5-2 03 18-1-1 備品購入費	1,469	1,015	視聴覚室用会議机 40台

## ■特記事項

中央公民館会議室の机、調理室の器具などが故障や破損、老朽しているため概ね5年をかけて更新をしていく。(平成27年から平成31年 総額5,000千円程度)

なお、使用できる机については、町民会館や総合運動場管理棟会議室などで利用

## ■目標又は改善策に対する取組内容

### 修繕（主たるもの）

11月	1階多目的トイレ自動扉修繕	478,440円
-----	---------------	----------

### 工事

9～1月	集会室舞台吊り物改修工事	1,620,000円
------	--------------	------------

9～1月	集会室排煙設備更新工事	8,532,000円
------	-------------	------------

### 備品

9月	視聴覚室用会議机 40台	1,425,600円
----	--------------	------------

## ■評価

集会室の舞台吊り物については、昨年度点検時に危険性を指摘されており、今回の改修工事において安全性が確保できた。また、同じく集会室の排煙設備についても、設備が作動不良により機能していなかったが、今回の更新工事により、火災時には自動で連動して排煙されるようになった。

視聴覚室の会議机の入れ替えにより、この3か年で予定していた貸部屋の全ての会議机の入れ替えが終了し、より利用者の利便性が高まった。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	生涯教育部 生涯学習課		No.	5
事業名	町民会館管理事業			
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する	
	基本施策	1	生涯学習の推進	
目的	町民が安全で快適に学習できるよう、施設を整備し、町民が学習成果の発表を行う場や講習等の教養を習得すると共に「明るく、楽しく、豊かに」生きることの一助とする。			
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設の利用者対応</li> <li>・ 設備の維持管理</li> </ul> ※外注分は協議・契約・履行確認		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支払処理</li> <li>・ 消耗品等の補充</li> <li>・ 除草等清掃作業</li> </ul>	
現在における経過又は課題	開館からすでに 20 年以上経過しており、施設の老朽化や非構造物の耐震診断の結果、屋根の雨漏り箇所や天井材に不具合が確認されている。また、付属の備品等については、更新が必要なものがある。			
平成 29 年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 修繕で対応可能な部分については、積極的に修繕し、改修が必要な場合にもできる限り対応していく。</li> </ul> 計画的に屋根補修、非構造部材の耐震化、空調機器等更新を行っていく。			

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	年間を通して行う保守点検等の契約締結 随時、履行確認をしていく。
7	屋根等改修工事設計の発注  * 突発的な施設の不具合等への対応に努めながら、健全な施設運営を図っていく。

## □3年間の目標

目標	.					
	.					
項目（単位）	H27 計画	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標	H31 目標

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30 年度	.
H31 年度	.

## ■事業コスト

		単位	H27 年度決算額	H28 年度当初予算額	H29 年度計画額
事業費		千円	22,173	27,226	21,419
(内特定財源)		千円	3,126	3,131	2,881
人工	職員	人工	0.3	0.3	0.4
	臨時職員	人工	0.1	0.1	0.1
	計	人工	0.4	0.4	0.5

## ■平成 29 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
12-1-9-4-1-2 行政財産目的外使用料	1	10-5-2 4 町民会館管理事業
12-1-9-4-3-1 町民会館使用料	2,100	10-5-2 4 町民会館管理事業
19-3-4-9-6-2 施設利用負担金	780	10-5-2 4 町民会館管理事業
合計	2,881	

## ■平成 29 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
10-5-2 04 11-6-1 町民会館修繕料	2,521	△1,943	観覧席の制御機器修繕

## ■特記事項

今後、屋根の改修(雨漏り対策)、非構造部材耐震、空調設備の更新していく。

## ■目標又は改善策に対する取組内容

### 修繕（主たるもの）

6月	避難器具取替修繕	486,000円
6月	空調設備機器修繕	496,800円
9月	移動観覧席修繕	1,052,136円

### 工事実施設計

8～2月	屋根等改修工事実施設計	1,620,000円（平成28年度からの繰越）
------	-------------	-------------------------

## ■評価

避難器具については、消防点検において老朽化が指摘されており、今回の修繕において、災害時における安全面の確保ができた。空調設備についても、経年劣化による不具合が指摘され、それを補うものとして修繕を実施した。移動観覧席についても、老朽化が点検にて指摘されており、3か年の修繕計画が予定されていた。今回の修繕は3年目にあたり、概ね老朽化対策は完了した。

平成30年度に予定している屋根等改修工事については、本年度実施設計を行い、来年度の施工に向けての準備を行った。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	生涯学習課	No.	6
事業名	社会体育振興事業		
総合計画の 体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する
	基本施策	1	生涯学習の推進
目的	町民が暮らしの中に「体育」を取り入れ「健康」と「元気」になれるよう、「町民と結びついた社会体育」をスローガンに各種講習会や大会などを開催し、町民にスポーツ参加の機会と普及に努めること。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ教室開催</li> <li>・スポーツ大会開催</li> <li>・体育協会支援</li> <li>・スポーツ少年団支援</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員事務</li> </ul>
現在における経過又は課題	<p>若い世代から高齢者の住民が生涯にわたって健康・体力づくり、趣味やレクリエーションに参加できるように多様なスポーツに親しむ機会の充実に努めていきたい。</p> <p>子供向けの事業については、総合型地域スポーツクラブであるNPO法人ウィル大口スポーツクラブが実施する事業で補完できている。</p> <p>団体支援では、自分たちだけの活動が中心であるが、多くの人を巻き込める地域貢献事業を増やしていきたい。</p>		
平成29年度の目標又は改善策	<p>子供むけの事業については、現状どおりウィル大口スポーツクラブと協働で事業を進めていく。さらに大人の事業についても同様の取り組みを実施していく。</p> <p>更にスポーツ推進委員を中心にターゲットを絞った教室を計画をしていく。</p> <p>団体支援では、自分たちの視点で団体を見直し、自らが中心となる団体だけでなく地域貢献にも積極的に取組めるよう支援する。</p>		

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	各団体補助金交付決定 事業の展開支援（4月～3月）
5	登山教室
9	地区別ソフトボール大会開催
10	町民体育祭開催
11	登山教室
12	愛知駅伝参加
3	桜並木健康ジョギング開催
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員会議は毎月1回開催</li> <li>・スポーツ教室は年度当初に企画し、夏以降に開催</li> </ul>

## □3年間の目標

目標						
	・					
	・					
項目（単位）	H27 計画	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標	H31 目標

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30 年度	・
H31 年度	・

## ■事業コスト

		単位	H27 年度決算額	H28 年度当初予算額	H29 年度計画額
事業費		千円	9,767	10,427	10,535
(内特定財源)		千円	535	486	499
人工	職員	人工	0.5	0.5	0.6
	臨時職員	人工	0.1	0.1	0.1
	計	人工	0.6	0.6	0.7

## ■平成 29 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
12-1-9-5-4-1 学校開放施設使用料	480	10-6-1 3 社会体育振興事業
19-3-4-9-5-1 スポーツ教室受講料	19	10-6-1 3 社会体育振興事業
合 計	499	

## ■平成 29 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

## ■特記事項

なし

## ■目標又は改善策に対する取組内容

### ●講座・教室

登山教室（５月、８月、１０月に計３回企画したが、全て天候不順等により中止）  
ラグビーの楽しみ方教室（３回、延８６人参加）

### ●スポーツ推進委員活動

委員会（委員会１０回開催、スポーツ教室、町民体育祭、桜並木健康ジョギングなどを運営）

### ●スポーツ大会開催

地区別ソフトボール大会（男子１４チーム、女子２チーム参加）  
町民体育祭（約延２，８００人参加）  
愛知県市町村対抗駅伝競走大会（１９人参加）  
桜並木健康ジョギング（４９２人参加）

### ●体育協会・スポーツ少年団事業

体育協会（１１団体）  
春季町民総合体育大会  
大口町・扶桑町親善体育大会  
秋季町民総合体育大会  
グラウンドゴルフ大会などを実施  
スポーツ少年団（５団体）  
全国スポーツ少年団軟式野球交流大会地区大会  
体カテスト  
愛知県スポーツ少年大会西尾張支部大会などを実施

## ■評価

講座・教室について、子ども対象の事業については、ウィル大口スポーツクラブにより積極的に進められており、多くの参加者からも好評価をいただいている。今後、成人向けの事業について、企画を検討していく必要がある。

昨年度に引き続き、スポーツ推進委員が主体となったタグラグビー教室については、ラグビーワールドカップの日本開催が予定されていることもあり、参加者からの感想も概ね好評であった。

スポーツ大会については、関係団体との協働事業やスポーツ推進委員の協力のもと、協働運営の形が展開ができています。また、総合型地域スポーツクラブ（ウィル大口スポーツクラブ）とも連携しながら事業展開をしている。

体育協会については、事業運営の監査を強化し、運営の透明化を進めた。

スポーツ少年団については、団員数の減少が続いており、団員確保や団の運営方法などの検討が必要である。

また、今年度は、更なるスポーツの発展に寄与するよう、生涯学習基本構想の下位計画である「大口町スポーツ推進計画」を平成３０年３月に策定した。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	生涯教育部 生涯学習課		No.	7
事業名	温水プール管理事業			
総合計画の 体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する	
	基本施策	1	生涯学習の推進	
目的	<p>市民が安全で快適にスポーツを楽しむことができるような施設の一つとして、一年を通して活用できる温水プールを整備することで市民の体力づくり、健康づくりに努め、スポーツによる明るいまちづくりを推進する。</p>			
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定管理者との協定締結</li> <li>・ 指定管理者と連携を密にとり施設の管理・運営について、確認する。</li> <li>・ 指定管理の範囲外の工事等について、検討し実施。</li> </ul>			
現在における経過又は課題	<p>施設の管理運営が平成 22 年度から指定管理者に委ねられ、新たに平成 27 年度に更新したが、開館からすでに 30 年近く経過しており、施設全体の老朽化は否めない。現状では、施設利用者の要望に応えることができない部分も多々存在しており大規模な修繕が必要な箇所も存在している。</p> <p>今後、非構造部材耐震工事や施設の老朽化に伴う工事が必要である。</p>			
平成 29 年度の目標又は改善策	<p>施設の管理運営が指定管理者に委ねられていることから、適切な対応がとられているか指導していく。</p> <p>施設については、指定管理者と協議のうえ大規模な改修が必要な箇所について把握し、今後の改修に向けて準備を進めていく。</p>			

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	<p>指定管理年度協定締結</p> <p>年間を通して施設の管理運営が適切に行われているか、指定管理者の動向を慎重に見守っていく。大規模な修繕が発生した場合は、指定管理者と協議しながら対応していく。</p>

## □3年間の目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> </ul>						
	項目（単位）	H27 計画	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標	H31 目標

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
H31 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> </ul>

## ■事業コスト

		単位	H27 年度決算額	H28 年度当初予算額	H29 年度計画額
事業費		千円	79,527	49,874	48,104
(内特定財源)		千円	188	200	160
人工	職員	0.3	0.3	0.3	0.3
	臨時職員	0.0	0.0	0.0	0.0
	計	0.3	0.3	0.3	0.3

## ■平成 29 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
12-1-9-5-1-1 行政財産目的外使用料	160	10-6-2 3 温水プール管理事業
合計	160	

## ■平成 29 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

## ■特記事項

今後は非構造部材耐震工事の実施が必要  
非構造部材耐震改修工事 69,660 千円

## ■ 目標又は改善策に対する取組内容

施設開館から30年以上経過しており、施設全体の老朽化は否めない。指定管理者において、適宜施設の修繕を実施し、利用者が安全に利用できる環境整備に努めたが、今後も修繕を必要とする箇所については、指定管理者と連携を密に取り、積極的に直していく必要がある。

## ■ 評価

指定管理者であるウィル大口の運営も安定してきており、多くの自主事業を実施している点は高く評価できる。今後も施設の修繕を適宜実施し、利用者が安全に利用できる環境整備について努めていく必要がある。また、定期的にウィル大口との打ち合わせを行い、情報の共有、問題点の洗い出し等を行った。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	生涯教育部 生涯学習課		No.	8
事業名	グラウンド等管理事業			
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する	
	基本施策	1	生涯学習の推進	
目的	町民が安全で快適にスポーツを楽しむことができるよう、また、多種多様なスポーツ種目の要望に応えられるように施設を整備し、町民の体力づくり、健康づくりに努め、スポーツによる明るいまちづくりを推進する。			
事務内容	・ 指定管理委託した施設の町負担分支払		・ 工事施工	
現在における経過又は課題	<p>平成 27 年度よりすべてのスポーツ施設を指定管理者制度に移行したため、今後は、指定管理者と調整しながら施設の維持にあたる必要がある。</p> <p>平成 27 年度追加施設は、 野球グラウンド、町テニスコート、屋内運動場 費用等の問題もあるが、全ての施設がより適正に管理・運営されるような施設管理の方法を検討していく。</p>			
平成 29 年度の目標又は改善策	<p>・ 管理運営が指定管理者に委ねられている施設について、指定管理者が適切な管理に努めるよう指導していく。また、経費抑制や適正な管理ができるよう協議を続ける。</p>			

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	<p>指定管理者制度導入施設の年度協定締結</p> <p>年間を通して施設の管理運営が適切に行われているか、指定管理者の動向を慎重に見守っていく。大規模な修繕が発生した場合は、指定管理者と協議しながら対応していく。</p>

## □3年間の目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> </ul>						
	項目（単位）	H27 計画	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標	H31 目標

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
H31 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> </ul>

## ■事業コスト

		単位	H27 年度決算額	H28 年度当初予算額	H29 年度計画額
事業費		千円	45,909	47,353	43,980
(内特定財源)		千円	1,415	1,287	1,399
人工	職員	0.3	0.4	0.2	0.3
	臨時職員	0.0	0.0	0.1	0.1
	計	0.3	0.4	0.3	0.4

## ■平成 29 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
12-1-9-5-1-2 行政財産目的外使用料	799	10-6-2 4 グラウンド等管理事業
19-3-4-9-7-1 特別養護老人ホーム負担金	600	10-6-2 4 グラウンド等管理事業
合計	1,399	

## ■平成 29 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
10-6-2 04 11-5 光熱水費	6,260	△600	使用実績に伴う減額 (電気料 △500 水道 △100)
10-6-2 04 13-12-1 委託料	2,601	△451	旧北小学校の公園工事のため所管替え

## ■特記事項

--

## ■ 目標又は改善策に対する取組内容

施設開館からどの施設も15年以上経過しており、施設全体の老朽化は否めない。指定管理者において、適宜施設の修繕を実施し、利用者が安全に利用できる環境整備に努めたが、今後も修繕を必要とする箇所については、指定管理者と連携を密に取り、積極的に直していく必要がある。

## ■ 評価

指定管理者であるウィル大口の運営も安定してきており、多くの自主事業を実施している点は高く評価できる。今後も施設の修繕を適宜実施し、利用者が安全に利用できる環境整備について努めていく必要がある。また、定期的にウィル大口との打ち合わせを行い、情報の共有、問題点の洗い出し等を行った。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	生涯学習課	No.	09
事業名	野外活動施設管理事業		
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する
	基本施策	1	生涯学習の推進
目的	<p>町民が自然にふれあいながら規律、協調、友愛の精神を養い、心身ともに健全に、また、より豊かな心を養うことを目的とし、安心して利用できる施設管理を目的とする。</p>		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設備の維持管理</li> <li>※外注分は協議・契約・履行確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支払処理</li> <li>・ 消耗品等の補充</li> </ul>	
現在における経過又は課題	<p>地元住民の有志グループに日常管理を委託してきたが、大きなトラブル等もなく現在も同じグループに日常管理を委託している。</p> <p>開場からすでに30年以上経過しており、施設全体の老朽化は否めない。現状では、施設利用者の要望に応えることができない部分も多々存在している。</p> <p>アスレチック施設については、木製であるので経年劣化が大きく、今後の施設の維持管理方針について引き続き検討していく。</p>		
平成29年度の目標又は改善策	<p>施設の老朽化に対応するため、可能な限り早期の修繕を実施している。また、地元地域からの要望等にも早期の対応に心がけている。</p> <p>今後の施設のあり方について、多方面から検証し、平成29年度中に方向性を検討していく。</p>		

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	<p>年間を通して行う保守点検等の契約締結 随時、履行確認をしていく。</p> <p>* 突発的な施設の不具合等への対応に努めながら、健全な施設運営を図っていく。</p>

## □3年間の目標

目標	・ ・					
項目（単位）	H27 計画	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標	H31 目標

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30 年度	・ ・
H31 年度	・ ・

## ■事業コスト

		単位	H27 年度決算額	H28 年度当初予算額	H29 年度計画額
事業費		千円	4,776	5,567	5,189
(内特定財源)		千円	15	20	15
人工	職員	0.2	0.2	0.2	0.3
	臨時職員	0.0	0.0	0.0	0.0
	計	0.2	0.2	0.2	0.3

## ■平成 29 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
12-1-9-5-3-1 野外活動施設使用料	15	10-6-2 5 野外活動施設管理事業
合 計	15	

## ■平成 29 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

## ■特記事項

なし

## ■ 目標又は改善策に対する取組内容

地元住民の有志グループに日常管理を委託しているが、大きなトラブルもなく適正に管理ができている。開場から30年以上が経過しているため、木製遊具や囲障の経年劣化が著しく、施設点検などで指摘された箇所については、適宜修繕を行った。

主な修繕

- ・ 遊具及び入口ゲート修繕
- ・ 出入口横囲障修繕

主な工事

- ・ 西側斜面排水路改修工事

## ■ 評価

点検において指摘された箇所については、適宜修繕を行い、安全に利用できる環境整備に努めた。今後は、施設の維持管理方法や施設そのものの在り方について、検討を進めていく必要がある。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	生涯学習課	No.	10
事業名	町史編纂事業		
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する
	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する
目的	<p>専門家や地域の住民の協力を得ながら、「先人の暮らし＝郷土の歴史と民俗」を調査・研究し、詳細な記録保存をして子孫に伝え残すとともに、郷土史の研究に資するすことを目的とする。</p>		
事務内容	<p>・昭和10年刊行の『大口村誌』と昭和57年刊行の『大口町史』を踏まえて、平成の『大口町史』を平成34年3月までに刊行する。</p> <p>① 誤った記載を訂正する。</p> <p>② 実際に発掘調査・古文書調査した結果や、学説の変化に対応した加筆修正をする。</p> <p>③ 昭和57年以降の大口町について記載する。</p>		
現在における経過又は課題	<p>江南市史は資料編1～5・本編で1975年から2001年まで、犬山市史は、資料編1～5・本編上下・年表で1981年から1998年までかかっている。これらは、大学教授や実績のある学芸員等を集めて編纂委員会を組織し、しっかりとした資料編を作った上で通史編（本篇）を作る、研究者向けの編纂手法であり、学術書である。</p> <p>一方、本町が昭和57年に刊行した『大口町史』は、町内の小中学校の先生方と一部の郷土史家が執筆し、2名の大学教授が監修して刊行したが、上記2市史よりは若干読みやすいものの古い学説での記述も散見される。しかしながら、昭和51年8月から編纂が始まり奥付けに「昭和57年2月刊行」とあり、5年半で原始から現代までを1冊にまとめて刊行された先人の苦勞がしのばれる。</p> <p>今回、『大口村誌』『大口町史』『まんが大口町の歴史』『町の語り部事業』をベースに、平成33年度末までに刊行できるような編纂スケジュールを立てるとともに、町民の方の手を借りながら、新たな情報収集及び学術性と読みやすさを併せ持つ町史編纂の手法をしっかり練って、経営会議に挙げていく。</p>		
平成29年度の目標又は改善策	<p>① 編纂の年次スケジュール、編纂の手法について検討し固めるための1年とする。</p> <p>② 下原稿を書ける項目から、どんどん書き溜めておく。</p> <p>③ 資料編に掲載すべき候補の目星を、多くつけておく。</p>		

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
	編纂の年次スケジュール、編纂の手法について検討し固めるための1年とする。
4	グループの打ち合わせを始める。
7	グループの素案を固め、部内で調整する。
8	経営会議に諮る。

## □3年間の目標

目標	・ ・					
項目（単位）	H27 計画	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標	H31 目標

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30 年度	・ ・
H31 年度	・ ・

## ■事業コスト

		単位	H27 年度決算額	H28 年度当初予算額	H29 年度計画額
事業費		千円	0	0	0
(内特定財源)		千円	0	0	0
人工	職員	人工	0	0	0.4
	臨時職員	人工	0	0	0.1
	計	人工	0	0	0.5

## ■平成 29 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

## ■平成 29 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

## ■特記事項

--

## ■目標又は改善策に対する取組内容

平成29年度は、町史編さんの手法やスケジュールを固めるための1年と定めていたが、なかなか着手できずにいた。しかし、11月9日・10日に職員3名で島根県松江市史の編さん状況を視察し、これを契機に他の自治体の編さん状況などを調査し始めた。

平成30年度当初予算を編成する中で、自治体史を作るうえで通常の組織立てをしての予算要求を考えていたが、「町民参加のまちづくり」を基本とする大町町として、30年度は町民によるワーキンググループのメンバーを集めること、書くべき項目を決めて目次を作ること、資料の収集・整理をすることとした。

また、平成33年度末の刊行を目標にした場合、原始から現代史を1冊で作ることは難しいことから、今回は、現代史編として刊行することとした。

監修は、学術的正当性を担保するのに重要になってくるので、予算をつけていただき、愛知県史編さん室からの紹介で3月末に2名の現代史専攻の先生に内諾をいただいた。

## ■評価

出遅れていた感は否めないが、松江市への視察が事業に集中する刺激となった。

特に編さんの手法について、方向性をしっかり持つことができた。

さらに、1月1日付けで町史編さん室ができたことで、各自が自覚を持つようになり、資料の整理に着手し始めたことは、当初計画よりも早い取り組みとなり、有意義なことであった。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	生涯学習課（歴史民俗資料館）	No.	11
事業名	文化財保護事業		
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する
	基本施策	1	生涯学習の推進
目的	郷土に残る貴重な文化財の保護に努め、積極的に活用することにより次世代へ継承する。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定文化財の保存と活用</li> <li>・ 新規に指定可能な文化財の調査</li> <li>・ 町の歴史に係る調査・研究</li> <li>・ 埋蔵文化財の保護と開発に係る調査</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伝統芸能の継承と普及</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>		
現在における経過又は課題	<p>町内に残る指定文化財及び未指定でも近年急速に失われつつある郷土の歴史を考える上で貴重な文化遺産について日々調査を行い、それらを保存・活用することにより、町民に認知してもらえるように努める。</p> <p>各地区の伝統芸能について、近年後継者不足に悩まされているので、伝統芸能を発表する場を提供するとともに、次世代へ継承する方策を考えなければならない。</p>		
平成 29 年度の目標又は改善策	<p>指定文化財及び町内に残る貴重な文化遺産等について、専門家や地域住民の協力を得ながら調査を進め、その成果を町民に還元するため、学習機会の提供等、普及啓発活動を進めていく。</p> <p>毎年 4 月及び 10 月に開催している伝統芸能発表会及び大口北小学校で実施している伝統芸能保存会の方々と児童の交流会を引き続き開催し、発表の場を設けるとともに、各地区の活動状況を把握しながら、次世代へ継承する方法を模索する。</p>		

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
10	文化遺産の調査及び普及啓発活動 文化遺産に関するイベント・講演会の検討。12月頃までに実施。 調査について、専門家や地域住民の協力を得ながら通年で実施。さらに文化遺産に関する認知度を高めるため、普及啓発活動を随時開催。さらに、町内の歴史について、町内外の各種団体より講演依頼等がある場合は、積極的に受けて実施する。
4	伝統芸能の保存・継承 金助桜まつりでの伝統芸能披露
6	伝統芸能保存会会議において、各地区の現状等を把握し、今後の活動について検討。
10	伝統芸能発表会の開催
2	大口北小学校との交流会（他の小中学校へも本活動を提案する）。

## □3年間の目標

目標	・ ・					
項目（単位）	H27 計画	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標	H31 目標

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30 年度	・ ・
H31 年度	・ ・

## ■事業コスト

		単位	H27 年度決算額	H28 年度当初予算額	H29 年度計画額
事業費		千円	2,632	3,058	3,462
(内特定財源)		千円	30	30	30
人工	職員	人工	0.5	0.5	0.4
	臨時職員	人工	1	1	0.5
	計	人工	1.5	1.5	0.9

## ■平成 29 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
その他	30	町史、遺跡報告書売払い
合計	30	

## ■平成 29 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
樹木剪定等委託料	600	600	町指定文化財「しょうねん塚古墳」の樹木を伐採するため。

## ■特記事項

--

## ■ 目標又は改善策に対する取組内容

文化財の指定・未指定に関わらず、町内に遺る多種多様な文化遺産について、歴史文化教育事業に係る事業で連携している地域自治組織をはじめ、各種団体に所属する町民から情報提供を受けつつ、それらの把握及び調査に努めた。また、さくらメイト、さくら大学、中小口コミュニティ、老人クラブ等からの依頼を受け、町内の文化遺産に関する講演及び現地解説を実施した。

春の金助桜まつり及び秋の伝統芸能発表会は、後者が当日雨天により予備日に順延となったが、無事開催することができた。秋の伝統芸能発表会は、町外の伝統芸能団体（江南市・安良棒の手保存会）にゲスト出演していただいた。また、2月に開催した大口北小学校との連携事業「ふるさと大口・お祭りたいけんひろば」を開催。児童と各地区の保存会が熱心に交流する姿が印象的であった。

## ■ 評価

町内に遺る多種多様な文化遺産の啓発活動は、様々な団体より依頼を受け、現地解説及び講演を実施することができた。さらに、その場において文化遺産に関する新しい情報をいただくこともあり、情報収集としても貴重な機会であるため、次年度以降も積極的に依頼を受けていきたい。

春の金助桜まつり及び秋の伝統芸能発表会を無事開催し、各地区の保存会が日頃の成果を発表する場を設けることができた。しかし秋の伝統芸能発表会は予備日開催だったため、例年よりも観客が少なかったことは否めない。また、大口北小学校での交流は保存会の方々も楽しみにしているが、毎年2月という寒い時期に開催しているため、どうしても身体的な負担が大きい。よって次年度は開催時期を秋頃に変更できるように小学校と調整を進めたい。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	生涯学習課（歴史民俗資料館）	No.	12
事業名	歴史民俗資料館運営事業		
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する
	基本施策	1	生涯学習の推進
目的	先人の培ってきた過去の営みを現在に伝え、郷土「おおぐち」に関する事柄や美術分野等の展示を通じ、町民の知的欲求に応える。また、小中学校の見学や資料貸出等により、学校教育に寄与する。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年4回の企画展開催</li> <li>・ 常設展示室の管理</li> <li>・ 展示解説及びそれに係る調査研究</li> <li>・ 文化財収蔵庫の管理</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 収蔵品管理及び活用</li> <li>・ 学校授業等の受入れと出前授業</li> <li>・ 博物館実習生の受け入れ（一週間）</li> <li>・ 年報、展示図録等の発行</li> </ul>		
現在における経過又は課題	<p>年4回開催している企画展のうち、春の企画展「端午の節句」及び冬の企画展「ひなまつり」は毎年恒例の企画展である。上記2本の企画展を中心に、町民が積極的に資料館を利用してもらう機会を創出する。</p> <p>文化財収蔵庫の全体的な施設活用を模索し、特に収蔵品については、小中学校、高齢者施設及び町内各種団体に対してその活用の積極的な推進が望まれる。</p>		
平成29年度の目標又は改善策	<p>定例化した2本の企画展は、来館者からいただいたアンケート等の意見を参考に運営を改善し、来館者を増やしつつ円滑に利用してもらえるように努める。他2本の企画展についても、夏は子ども向け、秋は郷土ゆかりの内容を中心に、町民の知的好奇心を刺激し、積極的にPRすることにより来館者を増やす。</p> <p>文化財収蔵庫及び収蔵品の活用は、年1回の施設開放、月1回の「オレンジカフェ・大口」への資料貸出を引き続き実施する等、教育・福祉を巻き込んだ連携を展開しながら推進する。</p>		

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	春の企画展開催（6月上旬まで）
6	中学生職場体験
7	夏の企画展開催（9月中旬まで）
8	博物館実習生の受け入れ
10	秋の企画展開催（12月中旬まで）
11	ふれあいまつりでの文化財収蔵庫一日開放
1	冬の企画展開催（3月中旬まで）、小学校3年生の授業「むかしの道具」で資料館利用
<p>毎月、大口町社会福祉協議会が開催する「オレンジカフェ・大口」に収蔵品貸出。                      小中学校、高齢者施設及び町内各種団体に対し文化財収蔵庫の団体見学受入れ。                      また、収蔵品を利用する出前授業等の依頼があれば実施。</p>	

## □3年間の目標

目標	・ ・						
	項目（単位）	H27 計画	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標	H31 目標

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30 年度	・ ・
H31 年度	・ ・

## ■事業コスト

		単位	H27 年度決算額	H28 年度当初予算額	H29 年度計画額
事業費		千円	10,629	14,948	11,439
(内特定財源)		千円	40	40	40
人工	職員	人工	0.5	0.5	0.5
	臨時職員	人工	1	1	1
	計	人工	1.5	1.5	1.5

## ■平成 29 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
その他	40	図録売払い、広告収入
合計	40	

## ■平成 29 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
常設展示室改修委託料	0	△3,500	平成 28 年度で事業が完了したため。

## ■特記事項

--

## ■ 目標又は改善策に対する取組内容

年4回開催する企画展のうち、春の企画展「端午の節句」及び冬の企画展「ひなまつり」は今年度も継続して開催した。夏の企画展は今年度より推進している歴史文化教育事業の一環として、子どもを対象に郷土の文化遺産に親しんでもらう展示を行い、夏季休暇中は毎週ワークショップを実施。秋の企画展は、町社会福祉協議会と連携している「オレンジカフェ・大口」の紹介とともに、博物館の役割としての回想法を紹介する展示を実施した。

文化財収蔵庫内の所蔵資料について、「オレンジカフェ・大口」に毎月資料を貸出し、参加者に対し回想法の手法を取り入れたレクリエーションを実施した。さらに、高齢者施設の文化祭において資料借用依頼があり、「回想法コーナー」と称したスペースに資料を展示した。また、「ふれあいまつり」開催中は、文化財収蔵庫を開放し、収蔵庫内を見学する機会を創出。小学校3年生の授業「むかしの道具」においては、資料館での資料体験及び収蔵庫内の見学に利用していただいた。

## ■ 評価

春の企画展及び冬の企画展は、毎年好評であり多くの来館者で賑わった。特に冬の企画展について、初回から数えると10年を越え、写真撮影コーナーは類似した企画を実施する博物館施設が増え、資料館の衣装は経年劣化が進んでいる。これまでも写真撮影コーナーの対応には苦慮していたところではあったため、次年度は大幅なリニューアルの実施に努め、より長く継続し、多くの来館者に利用していただけるようにしなければならない。

文化財収蔵庫及び収蔵品の活用について、継続して実施している「オレンジカフェ・大口」をはじめ、高齢者を対象にした借用依頼が今後増加していく可能性がある。そのような依頼に対しては積極的に受け入れ、収蔵品のさらなる活用に繋げていきたい。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	生涯学習課（歴史民俗資料館）	No.	13
事業名	歴史文化教育事業		
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する
	基本施策	1	生涯学習の推進
目的	町内の歴史及び文化を、多様な主体と連携しながら次世代へ継承することにより、町民が郷土を愛し、町の魅力として誇りを持てるまちづくりを推進する。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育園との連携事業</li> <li>・ 小中学校における郷土学習</li> <li>・ 地域自治組織との連携事業</li> <li>・ 町内各種団体との連携事業</li> </ul>		
現在における経過又は課題	<p>町内における各種団体（地域自治組織、老人クラブ等）で地元の文化遺産に関する講演及び現地解説をした際、60代以上の世代でも基本的事項（場所・由縁等）を知らない方が多い。このことは、60代以下の世代も知らない可能性があり、地域（家庭）の中で、地域の歴史及び文化を次世代へ語りつぐということが断絶していると考えられる。</p> <p>よって、町内の多様な主体と連携し、老若男女問わず、郷土の歴史、文化及び現在も遺る様々な文化遺産を次世代へ継承することにより、町民の郷土愛を育み、それらが町の魅力として、自らの住むまちに対し誇りを持つことができるようなまちづくりを推進していかなければならない。</p>		
平成29年度の目標又は改善策	<p>平成28年度まで継続している南保育園との連携事業「郷土を愛する心を育む活動」、中地域自治組織の「歴史と民俗研究会」及び町内の小学校6年生を対象とした大口町出身の武将であり「松江開府の祖」堀尾吉晴公に関する授業を今年度も実施する。</p> <p>さらに、今年度より始まる南地域自治組織との連携事業の他、機会があれば町内の様々な主体と積極的に連携し、本事業を幅広く展開する。</p> <p>また、小中学校の郷土学習について、可能な支援を提案する等、積極的な連携に努める。</p>		

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南保育園連携事業「郷土を愛する心を育む活動」（年間3～5回）</li> <li>・町内の小学校6年生郷土学習「松江開府の祖 堀尾吉晴公」（9月～10月予定）</li> <li>・中地域自治組織文化部会「歴史と民俗研究会」</li> <li>・南地域自治組織「（仮）南地域の歴史や文化遺産を次世代につなぐ事業」</li> <li>・「おおぐち歴史ガイド」による生涯学習講座（6月・7月）</li>   <li>・その他、まちづくり団体等、町内の多様な主体とともに連携し事業を展開。</li> </ul>

## □3年間の目標

目標	・ ・					
項目（単位）	H27 計画	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標	H31 目標

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30 年度	・ ・
H31 年度	・ ・

## ■事業コスト

		単位	H27 年度決算額	H28 年度当初予算額	H29 年度計画額
事業費		千円	0	0	0
(内特定財源)		千円	0	0	0
人工	職員	人工	0	0	1
	臨時職員	人工	0	0	0.5
	計	人工	0	0	1.5

## ■平成 29 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

## ■平成 29 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

## ■特記事項

--

## ■ 目標又は改善策に対する取組内容

南保育園との「郷土を愛する心を育む活動」(計5回)、各小学校6年生を対象にした授業「郷土の偉人堀尾吉晴公」、中地域自治組織文化部会「歴史と民俗研究会」は昨年度から継続して推進。

今年度からの事業として、西保育園との「郷土を愛する心を育む活動」(計2回)を実施した。さらに、小中学校においては積極的に出向いて教職員との連携を図り、資料貸与や連携授業、大口西小学校の現職教育における講師(内容は校区内の文化遺産について)等を行った。さらに、南地域自治組織からの依頼により、毎月発行している「南地域まちづくりかわら版」に地域の文化遺産に係る連載を9月から開始。そして、昨年度より設立した「おおぐち歴史ガイド」は、桜の開花時期に合わせて堀尾跡公園周辺のガイドを実施し、ガイドの方を講師とした生涯学習講座を開催してもらう等、活躍の場を広げた。

## ■ 評価

昨年度より継続している事業に加え、今年度はより多くの主体と連携を図り、多くの事業(授業)を展開することができた。次年度以降も多様な主体とさらに密に、広く本事業が実施できるよう推進する。

特に小中学校に対してはより連携が深まるように努め、資料館利用マニュアルの作成や、小学校6年生で実施した堀尾吉晴に関する授業を踏まえ、より深く堀尾吉晴を知ってもらえるような連携授業を中学校で実施できるようにする等、町内の子ども達に対し、郷土の歴史・文化を知ってもらう機会を創出していきたい。